

# 日本看護学会論文集投稿規程

## 1. 投稿者の資格

原則として公益社団法人日本看護協会会員に限る。ただし日本看護協会及び都道府県看護協会の看護職以外の調査、研究を担当する職員はこの限りではない。看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。

## 2. 対象とする原稿

次の項目をすべて満たしているものを対象とする。

- 1) 第48回日本看護学会学術集会で発表した研究であること。
- 2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。
- 3) 他の学会および研究誌（商業誌・所属施設の研究集録等を含む）、本学会の他領域へ投稿していないこと。

※倫理的配慮については、第48回日本看護学会実施要綱（以下、実施要綱）6-7ページ参照

## 3. 投稿の受付および採否

- 1) 本規程を遵守した論文を受付ける。なお、規程外の論文は受け付けない。
- 2) 論文の採否は選考を経て学会委員会が決定する。
- 3) 学会委員会から修正を求められた場合は、指定期日までに再提出する。

## 4. 投稿手続き

本規程について了解のうえ、本会ホームページより所定の手順にて受付期間内に投稿手続きを行う。

## 5. 原稿の書式設定

- 1) 様式を本会ホームページよりダウンロードして原稿を作成する。  
※A4判に横書き、1行の文字数は35字、1ページの行数は30行、1ページ1,050字とする。
- 2) 本文の文字サイズは10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
- 3) 表紙・本文・チェックリストに氏名、所属名を記載しない。

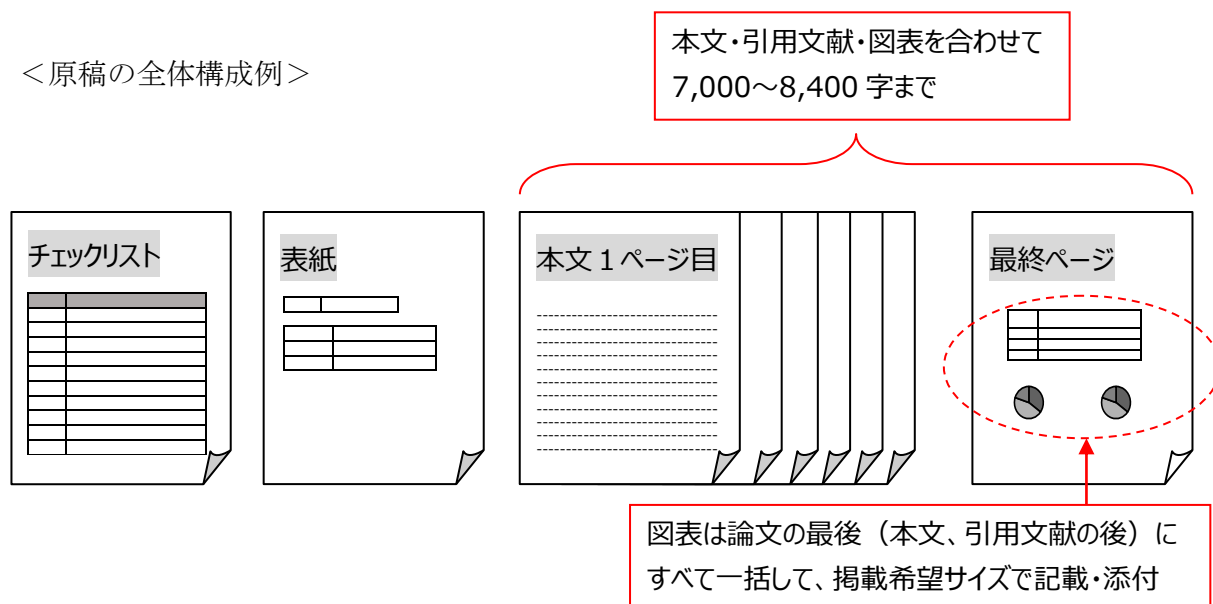
## 6. 原稿執筆要領

- 1) 表紙には、「タイトル」・「キーワード」・「図表の添付枚数」を記載する。
  - (1) タイトルは簡潔明瞭に論文内容を表すものとする。
  - (2) キーワードは5つ以内とする。
- 2) 本文
  - (1) 文字数は本文（スペースを含む）・引用文献・図表を合わせ、文字数換算で7,000~8,400字まで（所定の原稿様式を使用）とする。
  - (2) 本文とは、「はじめに」から「結論」までの論述部分とし、引用文献および図表等は含めない。
  - (3) 原稿は和文・新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。
  - (4) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については実施要綱の6-7ページを参考にすること。
  - (5) 図表等の挿入希望位置を本文中（ ）にて指定する。  
＜記載例＞ ……である（表1）。

### 3) 図表等

- (1) 本文・引用文献の後に、一括して掲載サイズで提出する。
- (2) それぞれ通し番号とタイトルをつける。表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、センタリングする。
- (3) 図表等は必要最小限の枚数に留める。ただし、図表等の文字数換算が占める割合は、本文（引用文献除く）の文字数の50%以下とする。
- (4) 白黒印刷で判別できる明瞭なものとし、カラー原稿は不可とする。

#### <原稿の全体構成例>



### 4) 文字数換算（カウント）の方法

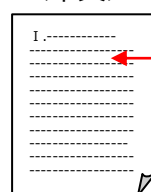
#### <本文および引用文献の文字数換算例>

#### (1) 本文

- ① 文中の空白を含めて 1 ページにつき  
1,050 文字とカウントする。
- ② 文中の空白を含めて 1 行につき  
35 文字とカウントする。
- ③ 文書作成ソフト等の文字カウント機能  
による文字数換算は採用しない。

※文書作成ソフト等の文字カウント機能を使用した場合、  
ソフトの種類・バージョン、パソコン環境等により  
文字カウント数が変わる可能性があるため、  
本学会では上記①②の文字数換算方法を採用している。

#### <本文>



例) 1 ページをすべて使用  
= 30 行使用  
= 30 行 × 35 字  
= 1,050 字でカウント

行の途中で改行している場合も  
1 行につき 35 文字でカウントする

#### (2) 引用文献

引用文献の文字数換算方法は本文と同様とする。

#### (3) 図表等

- ① 図表の大きさと文字数換算方法は、  
原則として下記の 3 通りとする。

図表 A4 判用紙大 : 2,000 字

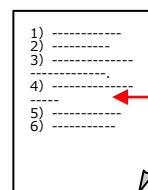
A4 判用紙半分 : 1,000 字

A4 判 1/4 : 500 字

- ② 図表等の文字数換算は、上記 (1) 本文の文字数換算の 50% 以下とする。

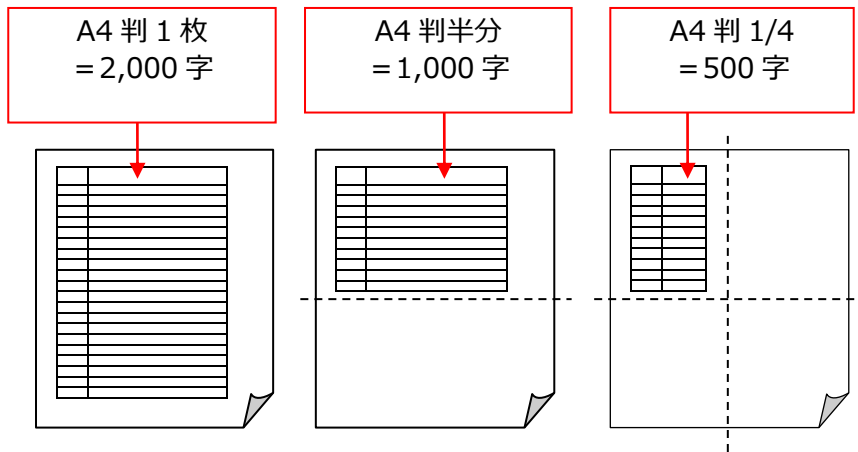
- (4) 論文原稿全体の文字数は、上記 (1) (2) (3) の文字数換算を合わせ、7,000～8,400 字まで  
におさめる。

#### <引用文献>

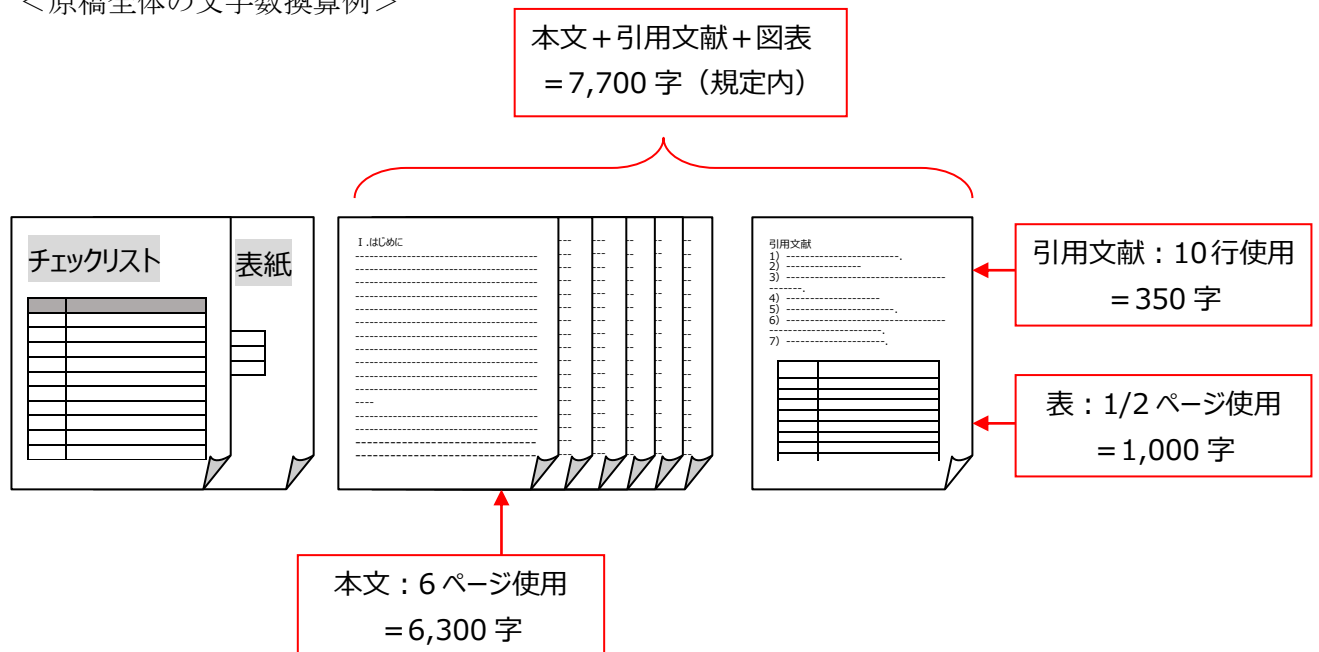


例) 8 行使用  
= 8 行 × 35 字  
= 280 字でカウント

<図表の文字数換算例>



<原稿全体の文字数換算例>



5) 引用文献

- (1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に<sup>1)</sup> <sup>2)</sup>と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。
- (2) 引用文献は次のように記載する。

<雑誌掲載論文>

- ◆ 著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次）.  
例）学会花子：看護研究の〇〇〇について，〇〇看護，25（11），p. 35-38, 2008.  
例）学会花子，日本協子，清瀬看子，他：看護の〇〇〇研究，第〇回日本看護学会論文集（看護管理），p. 5-8, 20△△.

<単行本>

- ◆ 著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）.  
例）学会花子：看護実践研究の手引き（3），〇〇看護出版，p. 145-148, 2006.

- ◆ 著者名：表題名, 編者名, 書名 (版), 発行所, 頁, 発行年 (西暦年次).  
例) 学会花子：研究における〇〇, 日本協子編, 看護実践研究 (2), △△出版, p. 76-88, 2007.  
例) 前掲書1), p. 100-115.

#### <翻訳書>

- ◆ 原著者名：書名 (版), 発行年, 訳者名, 書名 (版), 発行所, 頁, 発行年 (西暦年次).  
例) Alice Williams : Nursing Research (4), 2001, 学会花子訳, 看護研究 (4), 〇〇看護出版, p. 298-280, 2003.

#### <電子文献>

- ◆ 著者名：表題名, 雑誌名, 巻 (号), 頁, 発行年 (西暦年次), アクセス年月日, URL.
- ◆ 発行機関名 (調査/発行年次), 表題, アクセス年月日, URL.  
例) 文部科学省, 厚生労働省 (2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, 2015年4月10日閲覧, <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

※公的機関から提供される情報 (統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする

(3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

## 7. 著作権

日本看護学会論文集に掲載された著作物 (電子媒体への変換による利用も含む) の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが、再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。

## 8. 論文集の電子化

日本看護学会論文集をより広く会員に活用してもらうため、論文集の冊子を筆頭著者に1冊送付するほか、電子化された論文集を日本看護協会ホームページ (キャリアナース (旧会員ダイレクト)) に掲載する。

## 9. 諸注意

- 1) 投稿論文が他誌および本学会の他領域における論文集との重複投稿であると学会委員会が判断した場合には、いかなる時期にあっても受付および採択を取り消す。これに伴い発生した論文集の訂正等に要する費用は原則として投稿者が負担する。
- 2) 尺度等および商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておくこと。図表等の転載は原則として認めない。また、薬品や検査器具等は一般名称を用い ( ) 内に商品名と登録商標の場合は®を記載する。
- 3) 論文集に掲載の所属施設名、氏名は論文投稿時の表記どおりとし、共同研究者は全員の氏名を掲載順に記載する。
- 4) 発表者は、研究に関連する企業や営利を目的とした組織または団体との経済的な関係の有無について、過去1年間における利益相反を抄録原稿の倫理的配慮の内容に含めて記載しなければならない。

平成29年4月1日一部改正